

# ENOKI

えのき



学校にまちな先生が  
やって来た!

〜第15回まちな先生見本市〜

平成27年度新宿区環境学習発表会

平成28年1月30日(土)新宿区立鶴巻小学校を会場に「第15回まちな先生見本市」並びに「平成27年度新宿区環境学習発表会」が開催されました。当日は、あいにくの雨模様のお天気でしたが、学校公開も兼ねていた鶴巻小には大勢の保護者・地域の皆様と参加を楽しみに来てくださった皆さんで大盛況でした。

午前8時50分からは、つるまきルームにおいて牛込A地区6校の児童による「環境学習発表会」が、講師にアルピニスト野口健さんをお迎えして実施され、日頃の学習の成果を発表しました。講師の野口健さんからは、日常的に環境について考えている姿勢や取組をほめていただきました。

また、午前10時からは「まちな先生見本市」が体育館をメイン会場にして開催されました。「まちな先生」として日頃はそれぞれの地区や地域で環境に対する取組を実践されている皆様が50団体以上も参加され、児童や来校者に体験的な活動を通してそれぞれの実践を紹介してくださいました。午後からはつるまきルームで「先生とまちな先生の懇談会」も開かれ、鶴巻小の環境学習への取組や実践報告を行い、まちな先生を学習活動に効果的に活用するための方策を考えるなど有意義な時間となりました。会議室や校庭では豚汁や焼き芋の販売(児童へは無料)もあり、子どもたちも大喜びの一日となりました。

# 地域の歴史④

## 東京大空襲と焼夷弾

菅野 晃

\*\*\*\*\*

『昭和20年3月10日のB29爆撃機による空襲で本所、深川方面の下町を中心に一面の焼け野原になり、罹災者100万人以上、死者10万人以上の被害がでた。』と「えのき55号地域の歴史②」で加藤利雄氏が書いておられるが、同年4月13日の爆撃で飯田橋辺りから江戸川橋の通りまで、総なめに焼き尽くされた。

アメリカ力がこの空襲で東京の街並みを焦土化するのに成功したのが「焼夷弾」である。皆さんこの字が読めますか。これは「しよういだん」と読みます。物の本によると、焼夷弾とは『家屋物資の焼失破壊や火災による人員殺傷の目的で使用される砲弾・爆弾』のこととあります。

日本で主に使用されたのは、油脂焼夷弾で、これを基盤の目のように縦横十文字に落下させ、四方から火が迫るのだから逃げ場が無く、多数の死者が出たのは当然のことである。

当時学校で焼夷弾の説明会で、油脂焼夷弾とエレクトロン焼夷弾の説明があった。油脂焼夷弾に火をつけて見せる訳にはいかなかったのだから、エレクトロン焼夷弾には火をつけて見せてくれた。これは子供が遊ぶ電気火花そっくりで、これでは障子か唐紙でもなければ火事にはならない。見つけたら手に持って捨てれば良い。大きさは太さ3センチ位で長さ30センチ位の棒状であり迫力

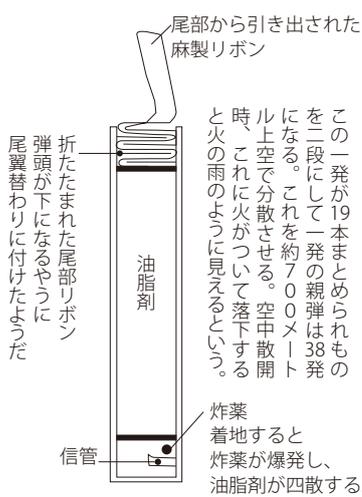
は無かったのを覚えている。

東京を火の海にした焼夷弾の実物が何処かに無いかと探したが、期待通りに両国の江戸東京博物館に、B29の東京空襲の記録と共に展示されていた。

ここで、油脂焼夷弾についての資料を少し紹介してみよう。

正確な寸法は解らないが、一本の大体の大きさは太さが53ミリ、長さ45センチの六角形の棒状の筒で、その中にベトベトな糊状の油脂が袋に入っている。この油が爆発して火が着き四散し燃え上がるというものである。戦後この焼夷弾の不発弾が方々でみつかって、これをいたずらして信管に触り爆発してケガをしたと言うニュースをよく聞いたものだった。

私も雪が山になっていたところに焼夷弾が落ちたため炸裂しなかった不発弾を持ってきて上部から筒をこわし油を取り出した。皆さんもバーベキューなどの時



この一発が19本まとめられものを二段にして一発の親弾は38発になる。これを約700メートル上空で分散させる。空中散開時、これに火がついて落下すると火の雨のように見えるという。

に火を起すのに苦勞した経験をお持ちだろう。そこで袋に入っているこの油を薪に塗り付けマッチで火をつければ、薪に火が着くというもので、ずいぶんと重宝したものだ。

戦後七十年の今、私達は平和を当たり前のように受け入れているが、東京大空襲を経験した人も少なくなった今日、このような忌まわしい過去があったことを知ること必要なことではないか。またこのことを知った時に各々の考え方が変わるのではないかと痛切に感じた。

記録によるとマリアナ基地から出撃した爆撃機は二万七千五九機、落とした爆弾は十五万五千五百三三トンと言われているのだから毎日爆撃があったと言っても過言ではない。今でも私の耳には『東部軍管区情報 東部軍管区情報 敵B29編隊鹿島灘より侵入せり』と言うラジオの声がこびり付いている。

プロフィール  
改代町在住 83歳  
広報えのき編集長 菅野 晃



油脂焼夷弾の弾筒 (写真中央) 右上の丸い所が信管

## 天祖神社の石臼

石臼

早稲田鶴巻町の天祖神社では、新春恒例の餅つきが今年も行われました。

今年には木臼の他に石臼が登場しました。大変珍しく思ったので写真に撮りましたのでご覧ください。

この石臼は長年神社本殿の横に眠っていた二基のうちの一基です。木臼の一基が老朽化したために交代したの登場です。(編集部)



何年前から在るのかな ▶

▼ 何時までも取っておきたい風景です



# 【地上から見た空中戦】 前榎町町会長 大竹良重

私は太平洋戦争中の体験で、地上から空中戦を見上げたことが二度ある。交戦は高空なので肉眼での認識には限界がある。音も聞こえるのは爆音だけで、火器を撃ち合う音は地上まで届かない。

最初の体験は、昭和20年4月、学徒動員先の工場・グラウンドから見たもので、当日はその年の何回目かの空襲であったが、B29編隊は例の如く、1万メートルに近い高度を水平飛行していた。その時、編隊に急接近する一機の我が軍戦闘機が視野に入った。それまでは迎撃戦闘機の出撃があっても視界に入ることは一度もなかった。B29との距離を詰めていった戦闘機を、仰ぎ見ていると、戦闘機が一瞬、B29と交叉したと、目に映った。固唾を呑んで見ている避難中の従業員一同は私を含め、期せずして一斉に歓声をあげた。これはその時期、新聞・ラジオで報道されていた「体当たりによるB29撃墜」が、ひらめいたのである。だが、現実には体当たりでなく（出来ず）、再び戦闘機は機影を現した。然しその時、機体からは煙を引いていた。機体は徐々に高度

を下げはじめ、地上に迫ってきた。たった今歓声を上げた我々は急に黙りこくってしまった。悲壮感よりも次に起こる事への不安が誰にもあったものと思う。高度を下げつつあった機体は、視界の中で突然空中分解した。翼、胴体、エンジン部分がバラバラになりエンジンは物凄い轟音を立てて近いと思われる所に落下した。翼はゆっくり落下して行くのが途中まで見えた。胴体がどうなっただかは見極められなかった。脱出の落下傘も認識出来なかった。後日、それぞれが、1・5km四方に散らばって落ちたこと、塔乗員は幸い無事降下したことを聞いた。その後、戦闘機は飛燕で調布飛行場を出撃したと知った。相手のB29の動きは何故か記憶にない。この様に空中戦と言っても、考える様な華やかなものばかりではない。

別の日、遠望であったが、B29一機が、高空から炎も煙も出さず、ふらふらと錐揉み状態で落下するのを見ている。落下地点は久我山だと判明したが、墜落の経緯や落下地点の状況などの情報は得られなかった。

二度目の体験は、昭和20年5月25日

の空襲で、牛込、四谷、淀橋、中野、麴町、赤坂、麻布、本郷、渋谷、世田谷、小石川他が焼夷弾爆撃を受け、各地に甚大の被害が出た時で、宮城（皇居）も初めて空襲の被害を受けた。この空襲中、星も見えない様な暗い上空では敵味方の曳光弾が盛んに飛び交っていた。明るい赤色と、やや暗い赤色の弾道が夜空を彩っていた。どちらが味方かわからず仕舞いであった。この事態に於いても、暗闇の上空では、敵・味方の機影を認識する事が出来なかった。曳光弾が一時途切れた時、暗い上空の一面が急に明るくなり、B29の一部が現れた。エンジンと思われる個所から炎を吹いていた。地上で一部始終を見ていた我々は一斉に拍手した。B29は炎を揚げながら旋回し高度を段々下げた。灯火管制下の真つ暗な町並みが、高度の下がったB29の炎で、灯りが点いた様になった。拍手をしたばかりの気持ちに恐怖心が変わった。燃え盛った機体が頭の上に墜落したらと言うことが脳裏をかすめたのである。B29は超低空で頭上を過ぎ去って行った。写真や高空のものしか見ていない仇敵B29

の全姿を下から間近で、一瞬であっても見たことになる。この時になっても、我が軍戦闘機は高空の間に隠れて肉眼で見ることが出来なかった。この日は、炎に包まれて低空で脱出を図っているB29をもう一機、少し離れた上空で認識している。一夜で二機の撃墜機を見たのは初めてであったが、大本営は、その日「我制空部隊の邀撃戦果中判明せるもの撃墜四十七機の他相当機数に損害を与えたり」と発表している。当時は大本営発表が唯一の情報源で、何時何処で等の説明もなく、まともに受け入れる他はなかった。△当日の全国紙の記名記事▽

『銚子発』に、帝都上空方面から火だるまのB29が飛来し九十九里浜沖の洋上に墜落した。また、我が軍の邀撃でB29、11機を、銚子沖、九十九里浜沖、鹿島灘の洋上に撃墜した。』と報じている。同誌別欄では、各地で計27機のB29撃墜も報じている。

以上の諸数字についての信ぴょう性は、確かめようがない。



## わくわく何でも体験 昔あそび もちもちの会

3月13日(日)、牛込第二中学校において「昔あそびもちもちの会」が催されました。幼児から大人まで、多数の参加がありました。この催しは、牛込第二中学校の実行委員の生徒たちが企画から実施までを担当し、おもちつきや昔の遊びをとおして、地域の皆さんとの交流を深めることを目的に毎年3月に行われています。

おもちつきは小さな子どもも親子で一緒につきました。つきたてのおもちを皆でいただきます。百人一首や将棋に初めて挑む小中学生もいました。凧あげや羽根つき、めんこ、けん玉、「ママわし」など、親子で楽しく遊んでいる光景がたくさん見られました。凧は自分たちで絵を描き、脚をつけ、春風の舞う広い校庭で皆で揚げました。



協力

牛込第二中学校  
榎町子ども家庭支援センター



駐車場や自販機の周辺には空き缶やペットボトルのゴミが多かった

道路脇にはタバコの吸い殻のポイ捨てが多かった



3月6日(日)、早朝より榎地区の一斉清掃が行われました。私たちの住む町を皆できれいにしよう!と、535名が地域清掃に参加しました。道路にはタバコの吸い殻などのゴミが落ちていて道行く人のマナーの悪さを実感したクリーンデーでした。

## 榎クリーンデー (地域清掃)

# 東京都連合

# 学芸会に出場

平成27年12月22日、江戸川小学校の3年生が、新宿区の代表として『東京都連合学芸会』に出場しました。演目は落語の『はつてんじん』。演技にリーダーシアター（朗読劇）の手法を取り入れました。そして、八花丸亭Vと称して、ある時は役者、ある時は大道具・小道具役になって、終始舞台上で劇を展開しました。

## あらすじ・・・

天満宮に参拝に行こうとする父ちゃんに、母ちゃんは手のかかる息子の金坊も連れて行ってくれと頼みこむ。物は買わないという約束でしぶしぶ連れて出かけたものの、金坊があの手この手で物をねだるので、ついに根負けして凧を買ってしまっただ。広場で凧上げをしていくことになり、いざ始めてみると、夢中になる父ちゃんのせいでもちつも凧をさわらせてもらえない金坊。父ちゃんの方が仕方なく連れて行ったはずが、最後は「父ちゃんなんか連れてくるんじゃないかった！」と金坊が後悔するというオチ。



場面ごとに、ストーリーを語るナレーター役と、父ちゃん・金坊・その他の登場人物を分担し、25人全員がいずれかの場面で活躍するようにしました。校内の学芸会後、連合学芸会に出演するにあたり、何よりも広い会場で声が届くようにすることを目標に、校庭を舞台に見立てて練習しました。さらに、プロの劇団の方に指導をしていただく機会にも恵まれ、演技に磨きがかかりました。本番では、初めて訪れた会場であるにも関わらず、子供達は練習以上に堂々と演じ切りその演技力と絆の強さを高く評価していただきました。『はつてんじん』は終わりましたが、ユーモアと優しさややる気溢れる八花丸亭Vの心意気は子供達の心にしっかり根付いています。支えて下さった地域・保護者の皆様、本当にありがとうございました！



# 榎町地域センターミニ音楽祭

日頃の練習の成果を発表していただくという思いから、2月27日(土)に榎町地域センターの登録団体による「ミニ音楽祭」を開催しました。

童謡からクラシックまで、素晴らしい歌声と楽器演奏で聴かせて下さった出演団体の皆様、本当にありがとうございました。



出演団体 新宿えのき合唱団 新宿H A H A h a 倶楽部 コールうしごめ マドンナカンタービレ 小川サロン

## 高齢者クラブでいきいき 元気に暮らそう

榎地区の高齢者クラブの最近の活動状況をお知らせします

1. 平成27年度区高連「囲碁大会」の成績  
平成27年7月19日(日)に開催された第54回囲碁大会において、榎地区の次の方が上位に入賞されました。おめでとうございます。  
Aクラス 第三位 三木 忠さん 五段(柳町すみれ会)
2. 平成27年度区高連「カラオケ大会」の成績  
平成27年8月4日(火)に牛込笹崎区民ホールにおいて開催されたカラオケ大会において、半田ひで子さん(弁天町和老クラブ)が「東京アンナ」を熱唱して、「優秀賞」を受賞されました。おめでとうございます。
3. 第24回区高連「輪投げ大会」の成績  
平成27年12月7日(月)新宿コスミックセンター大体育室において、参加63チームで開催された第24回輪投げ大会に、榎地区の次の高齢者クラブが参加しました。上位入賞は次のとおりです。  
第五位 早稲田永楽会(239点) おめでとうございます。  
他の参加クラブは次のとおりです。(成績順)  
・山吹会・榎町友の会・西鶴クラブ・あかぎ友の会・弁天町和老クラブ、  
・原一あゆみ会・薬王寺第二長寿会・原二わらく会。以上  
(資料提供: 新宿区高齢者クラブ連合会)

「老人クラブ(高齢者クラブ)」

「100万人会員増強運動」展開中

老人クラブの魅力

1. 「会員になると、いきいきとした高齢期の生活(シニアライフ)が実現できます」  
地域に新しい仲間ができます。
  2. 知識や経験を生かし、新しい能力の発揮ができます。
  3. 健康の保持・増進になります。
  4. 社会活動への参画と貢献ができます。
  5. 心の安らぎ、充実感が得られます。
- あなたの参加で楽しいクラブを —
- (公益社団法人 東京都老人クラブ連合会 広報誌「都老連」第205号より)
- 「各クラブでは随時、新入会員を募集中です。  
入会される方は、入会手続きをお願いいたします。

## スポーツ交流のお知らせ

### ●ユニカール 輪投げ

日時 ①5月1日(日)

②5月15日(日)

③6月5日(日)

④6月19日(日)

⑤7月3日(日)

⑥7月17日(日)



会場 榎町地域センター  
4階 多目的ホール

### ユニカール

カーペットの上でできるカーリング。1チーム3人の2チームで、スタートラインから専用のストーンを滑らせ、サークルの中心に近づけることを目指すゲームです。子どもから高齢者まで、どなたでも簡単にプレイできます。

### ●卓球

日時 ①5月1日(日)

②6月5日(日)

③7月3日(日)

④⑤⑥ 午前10時～12時

会場 早稲田小学校体育館

運動しやすい服装で、うわばきを  
持参ください。

申込み・参加費は必要ありません

問合せ 黒川孔晴

Tel(3268)1777

主催 わせだスポーツ・文化協議会

## より実践的な

### 防災訓練を実施

#### ●鶴巻小避難所運営管理協議会

2月14日(日)に今年度2回目となる防災訓練を行いました。今回の訓練では、防災区民組織役員を対象に、地震の発生により、火災・けが人が発生、家屋が倒壊したことに伴い、避難者が避難してくることを想定し、避難所開設の手順を分かりやすく示した「避難所開設キット」を使用した訓練を中心に総合訓練を行いました。

今回の訓練では、D級ポンプやスタンドパイプを使った消火訓練とリヤカーを使ったけが人搬送訓練を予定していたのですが、雨天のため、この訓練は中止となりました。

午前9時から本部・庶務部を中心に各部に分かれて各避難所開設キットと訓練指示書に従って訓練を開始しました。避難者受付訓練では、早稲田鶴巻町の住民の方20名に避難者として実際に避難所まで来ていただきました。作業がスムーズに進むキットもあれば、苦戦するものもあるようでした。各訓練の進行状況は随時本部に伝えられます。最後にアンケートを書いて訓練は終了しました。今後は今回の訓練で得た成果と問題を検証し、次の訓練へ生かしていきたいと思っております。



## ワンコインえのき寄席

### 若手落語会

日時……6月26日(日)

開場……午後2時30分

開演……午後3時

会場……榎町地域センター  
4階 多目的ホール

入場料……500円

定員……120名

\*演者未定です。

チケットは5月上旬より榎町地域センター2階事務局にて販売予定です。

## 事務補助員募集

採用人員……若干名

採用予定……平成28年7月1日

採用条件……18歳以上・新宿区在住

(パソコン操作のできる方)

勤務場所……榎町地域センター  
新宿区早稲田町85番地

勤務内容……施設管理・使用申請受付・庶務事務等

勤務条件……①②③の組合せで週3日程度  
(土・日・祝日・勤務有り)

午前9時～午後2時

午後1時30分～午後5時30分

午後5時～午後10時

報酬……時間給(交通費支給無し)

① 940円

② 940円

③ 990円

募集期間……平成28年6月15日(水)まで

応募方法……募集期間内に履歴書(写真付)・応募用紙を  
榎町地域センターに提出

\*応募用紙は、榎町地域センター  
2階事務局においてあります。

選考方法……書類審査後、面接  
問合せ先……榎町地域センター管理運営委員会事務局  
Tel(3202)8585

## 納涼カラオケ大会

日時……7月31日(日)

午前10時～午後4時

会場……榎町地域センター  
4階 多目的ホール

参加費……300円

募集……72名

申込み……6月26日(日)  
応募者多数の場合は抽選を実施します。

午前10時より榎町地域センター  
3階工芸美術室・調理室にて  
受付します。

\*申込み書は5月12日(木)より榎町地域  
センター2階事務局にて配布します。

## 「春から初夏まで」の写真募集

榎町地域センターでは、館内展示用として春から初夏までの地域の写真を募集しています。皆様がこれまでに撮影した地域の写真をぜひお寄せください。

サイズ……6切(203mm×254mm)から  
全紙(456mm×565mm)まで

提出方法……額縁に入れ、撮影者、タイトル、  
撮影場所をご記入の上、榎町地域  
センター2階事務局までお持ちください。

提出期限……平成28年5月31日まで

展示期間……提出後おむね2週間から  
1か月間くらいまで

展示場所……榎町地域センター2階又は3階  
留意事項

①写真は丁寧に扱いますが、万が一破損等した場  
合であっても、責任は負いかねますので、提出  
に当たっては、この点ご留意ください。

②写真の内容によっては、展示をお断りさせてい  
ただく場合がございます。

③提出数に上限はございませんが、より多くの方  
の写真を展示したいと考えておりますので、あ  
らかじめご了承ください。

④提出いただいた写真は、展示期間終了後、お返  
しいたします。

# えのき文芸



散り残る重たげに八重白椿

飯田 もと子

たんぽぽが風に追われて独り立ち

奥瀬 イチ

結婚を祝ふ桜の咲き初むる

加藤 理君

霾曇愛犬の背を黄ばめしや

金澤 誠

春愁やざくざくざくと米を磨ぐ

軽部 とみ子

カーテンを替えて整ふ春支度

軽部 美沙子

無人駅芽吹きかいの峽を一望に

川口 あきを

春富士や頂き近し大吊橋

北村 妙子

薪割りの苦勞を癒す暖炉の火

木村 政彦

新雪に描くシユプール オーカイカン

久根下 和子

江戸の粹友禅流し春を呼ぶ

倉林 知子

恵方巻健やかなれと願ひ込め

菅原美智子



誰にでも口に出来ない過去がある

腫れ物のようにつぶれた春の恋

伊藤 三十六

ジョーカーを切って残るか大統領

別れざわ流し目ひとつまた明日

菅野 あきら

練習を重ね勝利の花が咲く

おもてなし包んで届く旅みやげ

小山 一湖

譲りあいしてる間に席取られ

高齢者笑顔で話す痛いところ

田実 孜



そんなにも何故にあなたは散り急ぐ

せめても一度花筏でと

奥瀬 イチ

苑に咲く河津桜の紅花に

ひとつ鳥来て声しきり啼く

加藤千代子

涙とは嬉しき時も悲しみも

共に我が身をなぐさめにけり

倉林 知子

## 春の花

ヤマブキ(山吹)

バラ科の落葉低木。五弁の鮮やかな黄色い花を咲かせる。茎の髄を山吹鉄砲など玩具に使用される。八重もある。



「家族の肖像」「技の伝承」「地域の歴史」の企画記事の情報をお寄せください。

広報誌「えのき」に関するご意見やお問い合わせ、情報提供も榎町地域センター事務局までお寄せ下さい。

「えのき」文芸に掲載の作品を募集しています。次号の俳句のお題は『夏』、川柳は自由吟です。投稿はハガキかファックスに、俳句・川柳の別を明記の上、6月10日(金)までに榎町地域センター事務局までお送りください。

〒162-0042  
新宿区早稲田町85  
TEL (3202) 8585  
FAX (3202) 2478